

## 臨床研究のお知らせ

当院では、医療の向上と国民の健康増進を目的として、下記の研究を実施しております。  
不明な点がございましたら、下記の問い合わせ先にご連絡下さい。

① 試料・情報の利用 目的及び利用方法	研究課題名	複雑性虫垂炎の術前予測因子
	実施予定期間	倫理審査承認後（2021年1月27日） ～2022年12月31日
	研究の概要	壊疽性虫垂炎や穿孔性虫垂炎を含む複雑性虫垂炎は急性腹膜炎に移行する可能性が高く、速やかな緊急手術の対象となります。他方でカタル性虫垂炎や蜂窩織性虫垂炎を含む単純性虫垂炎は、抗生剤加療が奏功し、準緊急手術や準待機的手術で対応可能な症例も多く、必ずしも緊急手術の適応とは言えません。我々は過去に①体温37.4度以上、②CRP4.7 mg/dl以上、③CTでの虫垂周囲の液体貯留が複雑性虫垂炎の術前予測因子となりうることを報告しました。今回、複雑性虫垂炎の術前予測因子の有用性の再評価を行い日常診療に役立てることを目的とし、症例を変えて後ろ向きに検証を行います。
	対象となる方	当院にて2013年1月～2019年12月まで急性虫垂炎に対して虫垂切除術を志向された方と対象とします。
	研究実施科	消化器外科
② 利用、又は提供する試料・情報	年齢、性別、併存症、発症日、症状、重症度、術後合併症の有無、CRP、WBC造影CT所見などの既存の診療情報を利用します。結果の公表の際は、個人が特定されないよう個人情報を保護します。	
③ 利用する者の範囲	当院消化器外科の研究参加医師のみが情報を取り扱います。	
④ 試料・情報の管理責任を有する者	研究責任者： 消化器外科 濱岡 道則	
⑤ 試料・情報の提供停止について	本研究の対象患者に該当する可能性のある患者さんで、自身の情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は下記にお申し出ください。お申し出いただいても今後の診療などに不利益が生ずることはありません。ただし、お申し出をされた時点で、データ分析等を終えている場合は、データを利用させていただきますのでご了承ください。	
⑥ ⑤の受付	⑤について、ご希望の方（代理人可）は下記の相談窓口にご連絡ください。	
	相談窓口	県立広島病院 消化器外科 部長 濱岡 道則 TEL：082-254-1818（平日8：30～17：15）
研究計画書及び研究の方法に関する資料を他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で入手又は閲覧できますので、問い合わせ先にご連絡ください。		